

世界中から厳選されたショートフィルムが、日本で一堂に会する米国アカデミー賞公認の映画祭

SHORTSHORTS



FILM FESTIVAL & ASIA 2007

Special Screening in Osaka

今年で6回目を迎える大阪開催！ 厳選作品を引っさげ、8月3日(金)～8月5日(日)の日程で開催！！

8/3(金)～8/5(日)大阪開催(大阪・京橋ビジネスパーク円形ホールにて)

「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2007 特別上映 in Osaka」の詳細が続々決定！

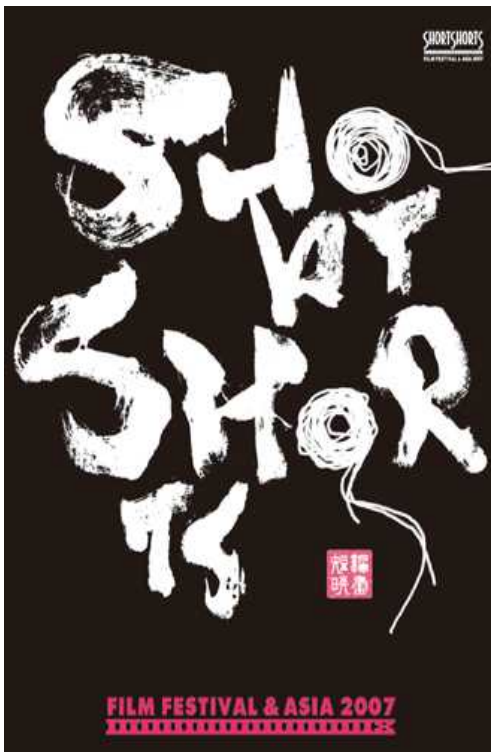
アカデミープログラム: ディズニー2作品を含む、アカデミー賞受賞 & ノミネート作品の上映！

ドイツプログラム: 映画『パフェム』のヒットで知られるトム・ティクヴァ監督の短編作品を上映！

SSFF & Asia 受賞作品プログラム: 2007年度東京本開催からさらに厳選された作品を上映！

コリアンミュージックプログラム: 韓国トップアイドル「SHINHWA(神話)」のエリック主演作品を上映！

「Short Shorts Film Festival & Asia」 概要



FILM FESTIVAL & ASIA 2007

2007年メインビジュアル

アジア最大級のショートフィルムの祭典へと成長を遂げた、「Short Shorts Film Festival & Asia (SSFF & Asia)」。日本で初めて本格的な短編映画をフィーチャーした映画祭として、1999年に俳優の別所哲也氏を実行委員長に産声をあげました。第1回開催から継続して、ジョージ・ルーカス監督ならびにルーカスフィルムにサポートを受けており、本年度で、ついに9回目の開催を迎えます。

またアジア限定で優れたショートフィルムを集める映画祭として、2004年から東京都と共催する「Short Shorts Film Festival Asia (ショートショートフィルムフェスティバルアジア)」の同時開催も決定し、「Short Shorts Film Festival & Asia (ショートショートフィルムフェスティバルアジア)」として各地で開催いたします。

そして、**今年もSSFF & Asia開催が決定！**世界中から届けられた2000本以上にも及ぶ国際色豊かな応募作品の中から、日米の映画祭実行委員会がコンペティション対象作品として選考した優れたショートフィルムを一挙上映いたします。

また、コンペティション対象作品に加え、アカデミー賞プログラム、ドイツプログラム、チルドレンプログラムなど様々な注目のプログラムを予定しています。是非ご期待ください。

6月25日(月)～7月1日(日)

東京・ラフォーレミュージアム原宿での開催を皮切りに全国ツアーがスタート!

アカデミー賞公認、日本発の短編映画の祭典「Short Shorts Film Festival (ショートショートフィルムフェスティバル)」が、今年も6月25日(月)から東京・ラフォーレミュージアム原宿、東京サテライト会場のシネマヴェーラ渋谷にて開催が決定いたしました。これを皮切りに、那須、名古屋、大阪、広島、沖縄で順次開催を予定しています。

短いもので1分、長いものでも25分(当映画祭規定による)という短時間のなかにストーリーが凝縮されるショートフィルム。「どんな有名監督でも、最初の一步は“Short Film”から」と言われるように世界各国で若きクリエイターたちの夢への第一歩として、その存在を確立しているショートフィルムは、現在世界的に活躍する監督たちもから推奨されています。

今年で9回目を迎える「Short Shorts Film Festival」も第1回開催からサポートを受けるジョージ・ルーカス監督をはじめ、マーティン・スコセッシ監督や香港のジョニー・トゥ監督、ソフィア・ Coppola監督など世界的に活躍する有名監督から応援メッセージを頂いており、昨年は韓国の俳優ユ・ジテ、今年アメリカの女優ジェニファー・アニストンなど、監督としてその活躍の場を広げている俳優陣からも推奨される世界的な映画祭へと成長と遂げてきました。



米国アカデミー賞ノミネート選考対象作品、有名監督の作品も上映!

今年も世界中から届けられた2000本以上にも及ぶ応募作品の中から、映画祭実行委員会によって厳選された約90作品が、コンペティション対象作品として一挙上映されます。そして、これらの作品の中からグランプリに輝いた作品は、次年度の米国アカデミー賞短編部門において選考対象作品となります。

また、オフィシャルコンペティションに加え、過去アカデミー賞を受賞、もしくはノミネートされた作品を上映するアカデミープログラムや、当映画祭開催初年度のジョージ・ルーカス監督にはじまる著名監督の初期作品を上映するマエストロショートショートなど、毎年恒例のプログラムが今年も充実しています。

さらに今年、日タイ修好120周年を迎えることを記念し、2004年カンヌ映画祭において長編「Sudpralad」で審査員賞を受賞したタイのアピチャートポン・ウィーラセータクン監督をフィーチャーするマエストロショートショートの上映や、話題の映画「パフューム」でその名を世界に知らしめたトム・ティクヴァ監督の初期作品も上映されるドイツプログラムなど、バラエティに富むプログラムが映画祭を盛り上げます。

「Short Shorts Film Festival」は、ショートフィルムを通してビジュアルカルチャーの国際的な交流をはかることをミッションとしてスタートしました。過去8年間で全国7都市、12会場で14万人以上の観客を動員。更に、国内ツアー開催に加え、シンガポール、ロサンゼルスなど海外にも開催地を広げ、「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニーク」な映画祭として注目を集め、現在ではアジア最大級のショートフィルムの祭典に成長しています。

アジアを起点とするショートフィルムのムーブメントの中心的存在として、以下の4つの柱を中心にさらに成長していきます。

人材の育成発掘
地域社会との結びつきの活性化
文化交流
次世代型ビジュアルコンテンツの開発

「ショートフィルムを通じたムーブメントからグローバルな「Visual Art Community」の創造」

ビジュアルカルチャーの原点ともいえるショートフィルム。現在進行形の情報産業社会を占う未来地図としてのショートフィルムを通じて、私たちは、世界に点在するビジュアルメーカーの集結による国境を越えた活動と、21世紀型コミュニティの創造を、日本を起点に推進します。

「映像文化・映像産業とテクノロジーを考える」

今後のアートシーンを牽引する原石の輝きを秘めたショートフィルム。20世紀に開花した映像文化は、常にそれを支える人間の知恵と英知の結晶であるテクノロジーと表裏一体で成長してきました。21世紀をむかえた今、情報産業大革命の最中において、映像文化とテクノロジーの関係を更に深く考察していきます。

「Short Shorts Film Festival & Asia」の実施、運営は、様々な方々の協力ネットワークを抜きに語ることができません。本年度開催においても、9年間で培ってきたネットワークの力で、より進化した映画祭を創りあげていきます。

全国に広がる開催都市

各開催都市では、それぞれ地域自治体や、商工会議所、商店会、ボランティアグループなどを巻き込んだフィルムフェスティバルとして演出していきます。本年度は、東京・大阪開催に加えて、**那須、名古屋、広島、那覇**での開催を予定しております。

さらに今年も海外へ！

これまで、日本各地で開催してきた本映画祭ですが、今年も海外に進出します。2007年9月に、メキシコの**メキシコシティ**にて「Short Shorts Film Festival in Mexico 2007」特別開催を予定しております。詳細は、順次東京オフィシャルHPにて発表させていただきます。

ジョージ・ルーカス氏

本映画祭の実施意義をご理解いただき、第1回開催時に自らの作品をご提供いただいた**ジョージ・ルーカス氏**。本年度も、実施にあたって継続的に支援していただくことになりました。ジョージ・ルーカス氏が日本の映画祭を応援するのは過去に例がないとのこと。

大阪開催概要(予定)

「Short Shorts Film Festival & Asia 2007 特別上映 in Osaka」

日時 : 2007年8月3日(金) ~ 8月5日(日)
日によって初回・最終回の時間が異なります。

場所 : 大阪ビジネスパーク円形ホール(旧・MIDシアター / 大阪城近辺)

上映作品 : [アカデミープログラム]、[ドイツプログラム]
[チルドレンプログラム]、[SSFF & Asia 受賞作品プログラム]
[大阪特別プログラム]
(コリアンミュージックプログラム、コリアンエンターテインメントプログラム)

主催 : 大阪ショートショート実行委員会

入場券: 1プログラム券 (1プログラム分有効) 前売 / 1000円 当日 / 1400円
3プログラム券 (3プログラム分有効) 前売 / 2800円 当日 / 3600円

販売方法: ・チケットぴあ...7月1日より発売開始(予定) *チケットぴあ店頭、ファミリーマート、サークルK・サンクス
・オンライン販売...大阪公式サイト(<http://osaka.eigasai.com/>)にて発売
・その他、チケットショップにて販売予定

お問い合わせ: 大阪ショートショート実行委員会まで。
E-Mail: ps@eigasai.com
Tel: 06-6343-8711

大阪公式サイト

<http://osaka.eigasai.com/> (オーサカ映画祭.コム)

過去の大阪ビジネスパーク
円形ホール会場内の様子



	8/3(金)		8/4(土)		8/5(日)
	×	13:00 ~ 14:00	チルドレン(A)	11:00 ~ 12:00	チルドレン(B)
16:00 ~ 17:30	アカデミー	14:30 ~ 16:00	ドイツ	12:30 ~ 14:00	アカデミー
18:00 ~ 19:30	ドイツ	16:30 ~ 18:00	コリアンエンターテインメント	14:30 ~ 16:00	コリアンミュージック(B)
20:00 ~ 21:30	コリアンミュージック(A)	18:30 ~ 20:00	SSFF & Asia 受賞作品 プログラム(A)	16:30 ~ 18:00	SSFF & Asia 受賞作品 プログラム(A)
	×	20:30 ~ 22:00	SSFF & Asia 受賞作品 プログラム(B)	18:30 ~ 20:00	SSFF & Asia 受賞作品 プログラム(B)
	×		×		×

スケジュールはゲストの関係上変更になる恐れがありますのであらかじめご了承ください。
最新スケジュールは大阪公式HPをご確認ください。

東京開催概要

「Short Shorts Film Festival & Asia 2007」

上記の名称のもと、下記の2つの映画祭を同時開催いたします。

「Short Shorts Film Festival 2007」

メイン会場 : ラフォーレミュージアム原宿(東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)
日時 : 2007年6月25日(月)~7月1日(日)
サテライト会場 : シネマヴェーラ渋谷(東京都渋谷区円山町1 5 Q-AXビル4F)
日時 : 2007年6月30日(土)~7月1日(日)
上映作品 : 【上映プログラム】
6プログラム(インターナショナル)
主催 : ショートショート実行委員会

「Short Shorts Film Festival Asia 2007」

メイン会場 : ラフォーレミュージアム原宿(東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)
日時 : 2007年6月25日(月)~7月1日(日)
サテライト会場 : シネマヴェーラ渋谷(東京都渋谷区円山町1 5 Q-AXビル4F)
日時 : 2007年6月30日(土)~7月1日(日)
上映作品 : 【上映プログラム】
4プログラム(アジア インターナショナル)
3プログラム(ジャパン)
主催 : ショートショート アジア実行委員会
共催 : 東京都(予定)

Short Shorts Film Festivalホームページ: <http://www.shortshorts.org>

Short Shorts Film Festival & Asia 2007 オフィシャルホームページ

チケットは6月上旬より 発売開始予定

「六本木ヒルズオールナイトスクリーニング」

日時 : 2006年6月29日(金)、30日(土)の2日間
場所 : TOHOシネマズ 六本木ヒルズ(東京都港区六本木6-10-2 けやき坂コンプレックス)

大阪以外のナショナルツアー開催地

那須、名古屋、広島、沖縄

インターナショナルツアー

メキシコ(メキシコシティー) 開催期間: 2007年9月6日(木)~13日(木)
メキシコ(メキシコシティー)は昨年に引き続き、2年連続の開催となります。

SSFF & Asia 2007 in Osaka 上映プログラム

アカデミープログラム

「Short Shorts Film Festival & Asia 2007」では米国アカデミー賞公認映画祭として、過去アカデミー賞を受賞、もしくはノミネートされた作品を上映します。

中でも注目を集めるのが、2004年と2007年のアカデミー賞短編アニメーション部門にノミネートされたディズニー2作品。

ひとつは2004年ノミネート作品「Destino(運命)」。ウォルト・ディズニーとサルバドール・ダリの友情がきっかけとなり、1946年製作が開始。15秒間のフッテージが作られたが、世界大戦のさなかに中断。しかし、1999年に「ファンタジア」の製作を終えたロイ・ディズニーが中断されたプロジェクトを再開し、製作開始から50年以上を経た2003年「Destino」はついに完成しました。2人によって夢のような異次元の世界が描かれています。

ふたつめは本年度のアカデミー賞にノミネートされた「The Little Matchgirl(マッチ売りの少女)」。アカデミー賞受賞作品となる「ライオン・キング」(1994年)で監督デビューを果たし、アニメーションおよび映画界で監督としての地位を確実なものとしたロジャー・アレーズの監督作品。「美女と野獣」では、ストーリー監修、「リトル・マーメイド」、「アラジン」、「リロ & スティッチ」ではストーリーボードの作成を担当するなど、数々の話題作品にかかわってきた監督の本年度アカデミー賞ノミネート作品は必見です。



「Destino」



サルバドール・ダリ



「The Little Matchgirl」

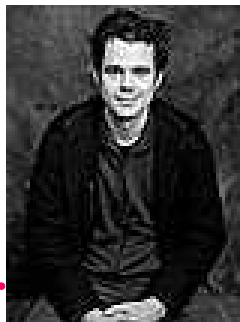
ドイツプログラム

2人の著名監督作品を中心に、ドイツの作品を特集。今年は、ハリウッドで活躍する巨匠、ウォルフガング・ペーターゼンの「Eine- der Andere, Der (This One and That One) 二人の男」「Ichi nicht (Not Me) 僕じゃない」や、映画『パフューム』で一躍有名監督の仲間入りを果たした新進気鋭監督トム・ティクヴァの秘蔵ショートフィルム「Epilog (Epilogue) エピローグ」を、特別上映!

その他、ジャンルもテイストも様々な選りすぐりのドイツ作品をセレクトした、ドイツプログラムに乞うご期待です。



ウォルフガング・ペーターゼン監督



トム・ティクヴァ監督



「Epilog」

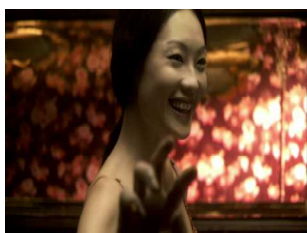
SSFF & Asia 2007 in Osaka 上映プログラム

チルドレンプログラム

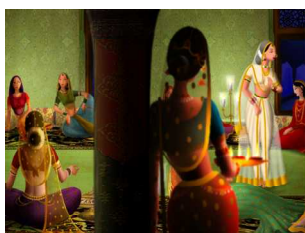
ショートフィルム(短編映画)は、短い時間の中で、作り手が伝えたい熱いメッセージが凝縮されています。また、短いだけに台詞(セリフ)がない作品も多く、子供にとっても見易くて飽きないエンターテインメントといえるでしょう!今回、小学生高学年以上を対象に、大人も含めて楽しんでもらえる作品をセレクトしました。鑑賞後、親子で語り合うのは間違いなし!

SSFF & Asia 2007 in Osakaでは、「チルドレンプログラムA」と「チルドレンプログラムB」の2部構成でお送りします。夏休みの機会に家族みんなで映画を楽しみましょう!

チルドレンプログラムA



「D.I.Y」



「虹絵」



「チェス」



「オフサイド」

チルドレンプログラムB



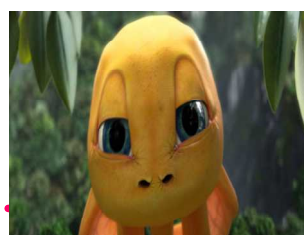
「月を盗んだキツネ」



「赤い風船」



「遠い記憶」



「サムとピッコロ」

SSFF & Asia 2007 受賞作品プログラム

ショートショートフィルムフェスティバル アジア 2007 東京本開催では、世界各国から集められた2000本以上の作品の中から映画祭実行委員によって厳選された約90作品が上映されます。これらの国際色豊かな作品たちを審査対象として、SSFF & Asia オフィシャルコンペティションを開催。コンペティションは、インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門の計3部門。インターナショナル部門(計45作品)では日本未公開の海外作品が上映され、その中にはアメリカの女優ジェニファー・アニストンの初監督作品も含まれています。また、アジアインターナショナル部門(計29作品)の上映作品は全て日本初上映。さらに、ジャパン部門(計16作品)では日本の若きクリエイター達の才能が光ります。各コンペティションで優秀賞を1作品ずつ選出、さらにその中から1作品にグランプリが授与されます。グランプリ受賞作品は次年度のアカデミー賞ノミネート候補に!

大阪開催では、オーディエンスアワードなどその他の賞も含めた受賞作品に加え、優秀作品をさらに厳選してプログラムを上映します。「SSFF & Asia 2007 受賞作品プログラムA」と「SSFF & Asia 2007 受賞作品プログラムB」の2部構成でお送りするプログラムの作品詳細は7月上旬に決定!公式HPでの作品発表をお楽しみに!!



コンペティション概要図

毎年大好評を博し、多くのお客様にお越しいただいている『大阪特別プログラム』。今年も世界に発信していける優れたショートフィルムを集めて上映する予定です。

大阪特別プログラム

コリアンプログラム

・「コリアンミュージックプログラム」

韓国のミュージック・クリップは、日本のものよりも遥かにストーリー性が豊かで、人気の映画俳優が出演するなど、まさにショートフィルムと呼ぶに相応しい作品群です。特に注目すべきは、韓国のトップアイドルグループ「SHINHWA(神話)」のエリックが主演を務める作品「冬話(Winter Story)」。ウォン・カーワイ監督作品「今すぐ抱きしめたい」にオマージュを捧げた、韓国産ミュージックドラマです。韓国でも一度だけ劇場で公開され、日本では勿論、劇場初公開。完全版、日本語字幕つきで上映。プログラミングと解説は、ラジオDJとして、また日韓音楽文化交流コーディネーターとして活躍の古家正亨氏が担当いたします。

・「コリアンエンターテインメントプログラム」

韓国ショートフィルムの傑作選をお送りする「コリアンエンターテインメントプログラム」。過去に「SSFF & Asia」で上映した作品の中から、厳選した作品を上映します。「SSFF Asia 2005」で審査員特別賞を受賞した「ミラクルマイル」など、珠玉の作品群をお楽しみください。



「冬話(Winter Story)」
(コリアンミュージックプログラム)



コリアンミュージックプログラム
プレゼンターの古家氏

大阪開催の運営は、たくさんの文化ボランティアによって行われています。

一般市民が、映画を観る側でなく魅せる側として参加でき、みんな一緒になってつくりあげのお祭りのような存在 = 「“Festival”よりも“Carnival”」でありたい、という思いのもとに「SSFF in 大阪」は開催しています。

そんな“お祭り”的雰囲気あふれる大阪から世界に羽ばたいていける大きな可能性に満ち溢れ、また次のステップへのきっかけにもなれる、そんな映画祭でありたいと考えています。

ボランティアスタッフ 募集中

映画祭の活動を「やってみてもいいよ!」と思った方、また、「自分にはこんなことができる!」という方など、少しでもこの映画祭に興味がある方を募集しています。初心者でも大歓迎です。

あくまでボランティアですので、活動に対するギャランティや交通費などは、原則としてお支払いしません。

締切り:7/1(日)

お仕事の内容 英語等の外国語ができる方、また日本語を勉強中の外国の方歓迎

- ・映画祭の制作業務(事務局での活動)
- ・上映プログラムの企画
- ・上映作品の審査
- ・メディアやスポンサーなどへの営業
- ・国内・海外のプロモーション・宣伝
- ・字幕作成
- ・チラシ・ブログ・メルマガ等のライティング
- ・Webやチラシの制作・デザイン
- ・映像編集・撮影・音響等
- ・本番当日の会場スタッフ など...

上記以外にも、やる気とアイデア次第で挑戦できるお仕事は多数あります。



昨年の大阪開催では、総勢356名のボランティアスタッフが参加。今年は今時点で63名のボランティアスタッフ応募が集まっています(6/1現在)。

一般試写会(1日のみ1回上映)

日 時・・・ 2007年7月26日(木) 19:30 ~ 20:50

場 所・・・ 大阪国際交流センター・小ホール
住所:大阪市天王寺区上本町8-2-6

内 容・・・ 一般向けの試写会。大阪公式応募ページにて応募フォームを準備。
大阪ロケーション・サービス協議会や、大阪公式メールマガジン購読者などを招待。試写会応募サイトや、映画紹介サイト、地域密着型ポータルサイトにおいて告知。

会場定員・・・ 200名

上映作品・・・ 各プログラムから1作品ずつ



2006年一般試写会の様子

公式ホームページ



今年度も「Short Shorts Film Festival in Osaka」のオフィシャルウェブサイトをオープンいたしました。本映画祭の最新情報が随時アップデートされるのももちろん、大阪特別プログラム上映作品やボランティアスタッフの募集告知などのお知らせ、過去の大阪開催レポートなども公開しています。

また、上映作品や開催日時などに関する情報や、試写会会場のレポート、ブログでの映画祭スタッフ日記、最新情報をお届けするメールマガジン配信など、親しみやすくバラエティにとんだ内容でお届けしていきます。

公式サイトURL:【オーサカ・映画祭・ドットコム】

<http://osaka.eigasai.com/>

本サイトは7月上旬オープン予定

公式ブログ

映画祭スタッフによる公式ブログも定期的に更新しています。上映作品・プログラムなど映画祭についての最新情報の他、事務局スタッフの仕事やインタビュー、事務局内の作業の様子など、公式HPでは伝えきれない現場の生の声を、親しみやすくスタッフの目線でお伝えします。

ブログURL:

<http://eigasai.blog55.fc2.com/>



公式メールマガジン

Webサイトでの更新情報や映画祭に関する重要なお知らせをお届けするメールマガジンも配信しています。SSFFやその他映画に関連する内容の掲載情報の募集も行っています。

ソーシャルネットワークサービス

国内最大手のソーシャルネットワークサービス「mixi」を使っての告知・宣伝活動もしています。映画祭のコミュニティを作成して映画祭の最新情報を書き込んだり、ボランティアスタッフや映画祭に興味をもってくれた方たちとの交流、意見交換なども行っています。

「カッコウの巣の上で」と「アマデウス」でアカデミー賞監督賞を受賞したミロス・フォアマン監督からの応援レター。

I support the Short Shorts Film Festival.
 The two shorts with which I started my film career were very important in finding my own cinematic "Handwriting", because a small budget freed me from pressures "money people" usually put on your project when you are starting with a full-length feature. That's why making short films is the smartest way how to find out for yourself where your head is at.
 And also: luck is more friendly to those who "talk short".

Milos Forman

私は、ショートショートフィルムフェスティバルを応援しています。
 私の映画人生のスタートであり、また私自身の映像スタイルを確立する上で、最も重要な役割を果たしたのが、2つのショートフィルムでした。
 ショートフィルムは低予算であるため、膨大な予算のかかる長編のように、出資者からのプレッシャーを受けることなく、自由に作品を作り上げることが出来ました。ショートフィルムは、自分の探し求めている作風や表現したいことを見つけ出す最高のツールだと思います。
 また、「ただだらと長く伝える」者よりも、「簡潔に(ショート)伝える」者ほど幸運を引き寄せるものです。なので、これで失礼するとしよう。

ミロス・フォアマン



1994年に放送開始されたテレビドラマ「フレンズ」のレイチェル役で一躍有名になり、その後は映画を中心に活躍しているハリウッド女優ジェニファー・アニストンからの応援レター。本年度コンペティション作品として初監督作品がノミネートされています。

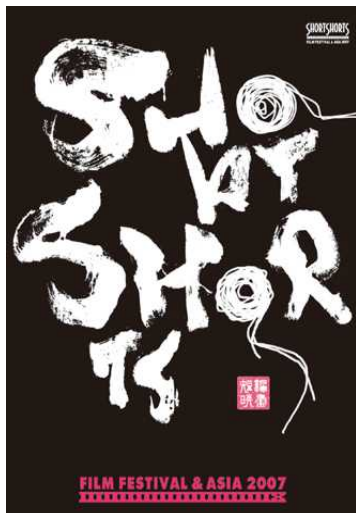
Congratulations to the 2007 Short Shorts Film Festival!

It is an honor for me to have my directorial debut, "Room 10", be featured in your program. Short Films are an integral part of the fabric of the film world, and I applaud you for supporting them. It was a true joy working on this film, and I am thrilled for everyone to see it.
 I wish the Short Shorts Organization and all of the other participating filmmakers best wishes for a very successful festival.
 Respectfully yours,
 Jennifer Aniston

「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2007」開催おめでとうございます！
 私の監督デビュー作である「Room 10」が、「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」にて上映されることを光栄に思います。ショートフィルムは、映画界には欠かせない存在です。また、そういったショートフィルム文化を支援している皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。この作品を監督できたことは、本当に嬉しいことであり、また皆さんに観てもらえることをとても嬉しく思います。
 ショートショート実行委員会の皆さんと、映画祭に参加されるフィルムメーカーの皆さんに、映画祭の成功を祈願して祝福の言葉を送ります。

ジェニファー・アニストン





今年のメインビジュアル・コンセプト

米国アカデミー賞公認9年目の開催を迎える映画祭。10周年の節目に向かってほとばしる勢いを書で力強く「SHORTSHORTS」と描写。

日本生まれの国際的な映画祭として、アジアの一員である独自性と感性を世界に発信する映画祭であることを意識し、カリグラフィックな世界をベースに本映画祭と ショートフィルムの世界がもつポップな世界観やモダンアートの側面を加えました。

スクリーンに浮かび上がるSHORTSHORTSの書の姿を基本に、アルファベットのOの部分で映画祭に集まる様々な作品(個性)が結びつく様を、遊び心のあるストリングキャラクター(糸文字)を加えることで表現。

「伝統は、かつての革新から生まれ、時を刻みながら純化し、アートフォームとなり、同時にエンターテインメントでもある！」ということ、このメインビジュアルに託します。

題字:書家 紫舟(ししゅう)

プロフィール

6歳より書をはじめ。書の文字を表現する力は、必ず世界に通用すると信じ、ハリウッド映画の題字を目指す。主な仕事に、「NHK美術番組『美の壺』の題字・掛軸・文字一式」、「朝日新聞毎週書の連載『いい名』(2004.11～2007.3)」などがあり、海外では、「ベネチアビエンナーレ2005企画展」にも出展。

メッセージ

「世界の映画の題字を見ると、フォント文字が多いことに気づかされます。映画の象徴的なシーンを題字の中に見立てて描いてみたり、一番伝えたい感情を一本の線に込めてみたり、そんなことが日本の伝統的な書で表現できると信じています。日本発、世界へ広がる「SFF」と共に世界に通用する日本の伝統文化を題字で世界の映画に携わっていきたくて願います。今回の素晴らしい機会に深く感謝致します。」

過去のメインビジュアル 大阪開催回のみ



2002年



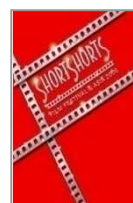
2003年



2004年



2005年



2006年



今年も「Short Shorts Film Festival 2007」のオフィシャルウェブサイトを開きます。映画祭インフォメーションや上映作品の紹介だけでなく、フィルムメーカーのインタビュー、映画祭に関わる人々のエピソード、実施会場にちなんだ情報など、きめの細かい情報の発信を予定しています。昨年度のウェブサイトも、アーカイブページからご覧になれます。

Short Shorts Film Festivalホームページ:

<http://www.shortshorts.org> 随時情報更新中

本映画祭掲載時の表記について

本映画祭の掲載に当たっては、下記いずれかの表記をお願い致します。

Short Shorts Film Festival & Asia 2007 Special Screening in Osaka

半角空 半角空 半角空 半角空 半角空

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2007 特別上映 in Osaka

半角空 半角空 半角空 半角空

略称： SSFF & ASIA 2007 特別上映 / Special Screening in Osaka

半角空 半角空 半角空 半角空

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA 2007

【映画祭ロゴ使用規定】

印刷物等に映画祭ロゴを使用する際は、左記ロゴをモノクロ（反転可）での使用とし、縦：1cm / 横：2cm以下の使用はNGとする。

開催地名は、文字表記の時のみ挿入

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA 2007

掲載に関するお問い合わせ先

(作品写真紙焼き・ポジ、作品VTRその他の資料の貸出等もお申し付け下さい。)

大阪ショートショート実行委員会事務局

〒531-0076 大阪市北区大淀中3-11-11 K&Rビル301 INDIE'S PLANET内

TEL.06-6343-8711 FAX.06-6343-8712

Email: ps@eigasai.com (できるだけメールでお問い合わせください)

担当：河野(かわの)、安本(やすもと)、田中(たなか)

あくまで予定の内容ですので、掲載の場合は必ずお問い合わせください